

片岡台幼稚園「防災紙芝居」開催報告

- 1 日 時：平成 21 年 11 月 16 日（月） 10：20～11：00
- 2 場 所：奈良県北葛城郡上牧町片岡台 片岡台幼稚園 リズム教室
- 3 講 師：地球防災隊（神戸学院大学 4 年生）
地球防災隊（関西学院大学 4 年生）
（陪席）NPO 法人都市災害に備える技術者の会
- 4 対象者：片岡台幼稚園園児 約 260 名
園長（1 人） 担任（8 人）
- 5 題 名：『ちゅーたとふしぎなメロンパン』
- 6 紙芝居の内容：25 分 紙芝居を CD に収録し、プロジェクターを使ってスクリーンに映写
 - ①あらすじ：メロンパンが大好きなねずみの「ちゅーた」。ある日、パンから出てきた妖精に、地震が来ることを知らされます。そのとき、妖精はちゅーたに地震が起きたときに大切な 3 つのことを教えてくれました。おいしいパンを焼いてくれるおじさんや、町の人を地震の被害から守るために、「ちゅーた」が活躍するというストーリーです。
 - ②紙芝居の目的：
 - ・地震を知らない子供たちに、地震がどんなものかを知ってもらうこと。
 - ・地震のときに大切なことを知ってもらう。
 - ③地震時の 3 つの大切なこと：
 - ・机の下に隠れる
 - ・頭を座布団などでまもる
 - ・あわてて外に出ない
 - ④クイズ：紙芝居終了後園児に上記 3 つの大切なことを質問し、答えを○×でこたえてもらう
 - ⑤プレゼント：園児全員に「ちゅーたのメダル」（紙製）をプレゼントする。
裏には「地震がおきたら頭を守ってね」などのメッセージが書かれている。
- 7 防災紙芝居実施状況：



紙芝居の表紙



地震が来て机の下に逃げているところ



ナレーション



クイズの答え ○



プレゼントの
「ちゅーたのメダル」



紙芝居「おしまい」



園長先生の終わりの挨拶

8 感想

3歳から5歳の幼稚園児に地震のお話がどの程度理解してもらえるか、効果はどうかと当初心配していたが、これまで多くの幼稚園で経験を重ねてきたこともあり、上手な話し方と園児を話の方へ引き付けるノウハウを持っているのか、園児は私語もなく熱心にお姉さんのお話に聞き入っていた。

紙芝居の始まりや、クイズを始めるときは少しざわついたが「さあ、始めますよ」と言ってから静かになるまでの時間が非常に短く、よく日頃から先生の指導が行き届いているのだろうとは講師の感想であった。

また、紙芝居の中で話した「3つの大切なこと」を紙芝居終了後クイズで確認したが、殆どの園児が正解であった。

紙芝居中に良く聴いていた証であり、家に帰っても親御さんに紙芝居の話をしたり、また、本人たちの頭の片隅に少しは残っていて、いざの時少しは役に立つのではないかという期待を持った。

(T. I 記)